※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　言語文化　（数研出版）						
副教材等	ビジュアルカラー国語便覧　改訂版（大修館書店） 改訂版　読解をたいせつにする要点プラス　体系古典文法（数研出版） 改訂版　古典文法要点整理ノート（数研出版） 三訂版　学習のポイントがよく見える　よむナビ古典（いいずな書店） 読んで見て聞いて覚える　重要古文単語３１５（桐原書店） 他、適宜資料を配布する						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業では、現代の様相を綴った小説や詩から始まりいにしえより伝え読まれてきた古典作品、短歌など様々な作品を取り扱います。授業は作品から時代や心境などを読み解くための「読む能力」を身につけてもらいます。また、作品から感じたあなたの思いを表現するための「書く能力」も学習します。

授業で行う課題以外にも家庭で取組む課題、協働で作り上げる課題など様々な課題に取り組んでもらいます。それらの課題とともに、定期考査や日々の学習記録などを総合的に判断して評価します。

文学の豊かさは社会の豊かさを現します。文学の素養を身に着け、豊かな人間になってください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動と通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

１、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、文学作品を通じ日本の言語文化に対する理解を深めるようにする。

２、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

３、言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自身を成長させ、狭山高校生として日本の言語や文化の担い手としての自覚を持つと同時に言葉を通した社会や人々との関わりを慈しむ態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めているか。特に、古典の世界に親しむために必要とする文語の決まりや特有の表現について理解をしているか。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。特に、古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的・文化的背景などを理解しているか。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近現代文学を読む ［教材］ 羅生門 芥川龍之介	a： ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 b［読］： ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 c： ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	古文入門 ［教材］ 児のそら寝（宇治拾遺物語） 古文チェックポイント［１］、［２］	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 b［読］： ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c： ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	古文の随筆を読む ［教材］ 春はあけぼの（枕草子） 雪のいと高う降りたるを 古文チェックポイント［３］	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「探求の扉」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 b［読］： ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c： ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 ・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

		に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。			
	近現代詩歌を読む ［教材］ サーカス 中原中也	a： ・現代詩の成り立ち、鑑賞のしかたを学び、作品にこめられた作者の意図を読み取る。 b［読］： ・詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 ・情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。 ・象徴的な表現を読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c： ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解しようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

2学期	古文の物語を読む ［教材］ なよ竹のかぐや姫（竹取物語） 古文チェックポイント［1］、［2］、［3］（復習）	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 b［書］： ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c：・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	定期考査 学習プリント	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	古文の物語を読む ［教材］ 芥川（伊勢物語）	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 b［読］： ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品内容について課題に応じて調査する。 ・「芥川」と『今昔物語集』「在原業平中将の女、鬼に噉らはるる語」や、他の章段をそれぞれ読み比べ、解釈を深める。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

		c： ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテクストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。			
	漢文入門 ［教材］ 入門一、二 漢文チェックポイント［1］、［2］	a： ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 b［読］： ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 c： ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	中国の故事を学ぶ ［教材］ 狐借虎威（戦国策）	a： ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・作品の歴史的･文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 b［読］： ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c： ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	日記文学を読む ［教材］ 門出・帰京（土佐日記） 古文チェックポイント［4］	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として用言について文語のきまりを理解する。 b［読］： ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 ・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 ・「門出」の場所について調査する。 c： ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテクストを読み合わせて、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

3学期	詩歌に親しむ ［教材］ 短歌	a： ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 b［書］： ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方	定期考査 学習プリント 課題問題集	定期考査 学習プリント	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	を捉え、内容を解釈する。 ・自身で短歌を作成し、表現力を高める。 c ： ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。			
詩歌に親しむ ［教材］ 古今和歌集	a ： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 b［読］： ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、理知的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ： ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・対象の捉え方の時代による変化を理解し、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
詩歌に親しむ ［教材］ 唐詩	a ： ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 b［読］： ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ： ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
詩歌に親しむ ［教材］ 平泉（おくの細道） 松尾芭蕉	a ： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。 ・文語のきまりを理解する。 b［読］： ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・句に感動の中心がある俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている作者の人生観や旅の意味と言った、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ： ・和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

		・俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　－　）時間

・書くこと　…　（　１０）時間

・読むこと　…　（　６０）時間